

第75回車座集会（中原区）結果概要

1 開催概要

日時 令和7年3月16日（日） 10:00～12:00

場所 イベントスペースKOSUGI1

(1) テーマ等

「**地域を守る！防災訓練をアップデート～新しい防災訓練を考える～**」
をテーマに、在宅避難等を推進する新しい防災訓練について、地域の方
と意見交換を行いました。

- ◆参加者自己紹介（「我が家の防災自慢」など）
- ◆開催趣旨・災害の現状等について説明
- ◆意見交換
 - テーマ① あなたが考えるこれから必要な訓練とは？
 - テーマ② 区民が参加しやすい訓練とするためには？

(2) 参加者、傍聴者

計13名（参加者12名、傍聴者1名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

6ページ以降参照

第75回車座集会（中原区）アンケート集計結果

回答率：100%
参加者 12/12人

● 今回の実施内容について

問1 本日のテーマはいかがでしたか。

(参加者)

よい	よくない	どちらともいえない
12	0	0

参考：(傍聴者)

よい	よくない	どちらともいえない
1	0	0

問2 本日参加いただいた御感想を教えてください。

(参加者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
12	0	0

参考：(傍聴者)

有意義であった	有意義ではなかった	どちらともいえない
1	0	0

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、防災訓練や防災対策について気付いた点、取り組んでみたいことなどがありましたら、御記入ください。

- (参加者) ✓「正解はない」です。正解がないからこそ、各自で考えて取り組んでいくことが大切だと思いました。
- ✓市長や区長が真剣に話を聞いて下さっていたことが印象に残りました。
是非、ゲーム性を取り入れた新しい防災訓練を期待しております。
 - ✓子どもや若者が参加しやすいのが良いと思っていたが、親視点だと参加のハードルがそもそも高いことに気付かされた。
 - ✓中原区から！！防災訓練を変えたい！！と強く思いました。
 - ✓100人いたら100通りの防災対策があるなと思った。
家で家族とどこで集まるのか、ローリングストックができているかなどを改めて話したいと思いました。
 - ✓リアルとバーチャル両方での防災訓練。ご近所さんとの連携。子どもの預かり等。
 - ✓防災訓練に参加している人の少なさや難しさを知ることができた。
一人ひとりが危機感を持ち行動することが大切だと気付いた。
 - ✓自分も含め危機感を持つということが一番大事だと感じました。起こってからじゃ遅いので情報を集めて知れるように心がけていきたいです。
 - ✓子ども達をどう守るか？各家庭の防災への備えを話すのが大切。
 - ✓年代別に災害に対する取組を発信する必要を感じた。

問3 本日の車座集会で心に残った発言や、本日の議論を踏まえて、防災訓練や防災対策について気付いた点、取り組んでみたいことなどがありましたら、御記入ください。

(参加者)

- ✓小さいお子さんがいらっしゃる方々へのフォローをしていただけたらいいなと考えさせられました。
- ✓訓練に参加いただくために、どのように自分事として捉えてもらうか。
また、その前提としてどのように告知をしていかなければいけないか考えるきっかけとなりました。

参考：
(傍聴者)

- ✓多様な世代、家族環境を想定した、シュミレーションや訓練をしやすい仕組みが必要だと感じました。
小、中、高の学校内訓練も「逃げる」方法以外に「なぜ」、「どうやって」という考え方をインプットさせてあげることができると良いと思いました。

問4 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見など

(参加者)

- ✓ 地震、火災、水災に対する対策。世代別に考える課題・問題点の共有。
- ✓ 防災のこと、減災のこと、まだまだ深く掘り下げられそうなので、もう一回このテーマで話してみたい。
- ✓ 働く子育て世代の横のつながり作り = 街の防犯、防災観点。
- ✓ 次は、今回のことを生かして防災訓練をやってみたいです。
- ✓ 今回話したゲーム性のある訓練の詳しい内容など。
- ✓ どの手段が一番情報共有しやすい、できるのか。
- ✓ いつくるか分からない地震等の不安を街全体で協力して行ける街づくり。防災第2回。
- ✓ 環境に対する取組。
- ✓ 地域の連携、夏まつり等のイベントについて。



Green For All
KAWASAKI 2024
第41回全国都市環境展のサテライト



令和7年3月16日実施 第75回 車座集会（中原区）

地域を守る！ 防災訓練をアップデート ～新しい防災訓練を考える～

振り返り資料

中原区役所

参加者の主な発言

テーマ1 あなたが考えるこれから必要な訓練とは？

属性	主な発言内容
企業・商業施設	社内での 備蓄品・避難場所・報告体制の確認
	飲酒をしている場合の対応等、 リアルな想像が大事
	通勤時等、 移動中の想定がないので考えておく
	デジタル・バーチャルを活用した訓練
区内施設	聴覚障害者の場合、 手話通訳がない時の対応方法
高校生	学校から家までの ルート確認・家族との連絡手段確認
	学校で発災した場合 に留まるか帰るか家族で話す
	部活中に発災した場合 の行動を考えておく
住民	防災アプリをDL・ 会社から家まで歩いて帰ってみる
	バイト先（塾）で 子どもを守るための訓練
	171の使い方 を家族で共有する
	留まるか帰るか、 焦らず対応することが大事

→同じ属性の中でも必要な訓練が人それぞれに異なる。

参加者の主な発言

テーマ2 区民が参加しやすい訓練とするためには？

属性	主な発言内容
企業・商業施設	年代に分けた対策は決まっていない。
	お仕事体験ワークショップの一環で実施
	大人が子供を見守る社会になると良い。
	デジタル・リアル両方必要。楽しい防災フェス
区内施設	ゲーム形式であればゲームの延長線上でできる
高校生	危機感・当事者意識を持つことが大事。
	中高生は防災は面倒くさいと思いがち。
	学校でチラシ配布する等の周知をする。
住民	大人の繋がりで子どもを守ることも大切。
	シミュレーションボードゲーム、脱出・謎解きゲーム
	来てもらうのではなく、保育園等に出向いて実施
	防災について考えるきっかけを与えることが大事

→参加のハードルを低くするため、レクリエーション要素のある訓練が良い。

参加者の意見を踏まえた対応

課題1 防災訓練への参加のハードルが高い

楽しい訓練が必要

課題2 必要な訓練が人それぞれに異なる

ターゲットごとのひとりひとりに合った訓練が必要

「新しい総合防災訓練」を実施

「防災フェスタ（仮称）」

避難所運営訓練をメインに実施している「総合防災訓練」をアップデート。防災について、身体を使って遊びながら学び、気軽に立ち寄り知ってもらう「防災フェスタ（仮称）」を開催する。

「おうちで訓練ウィーク（仮称）」

防災について考えるきっかけとして、家族パターンに応じた防災対策の取り組み例を子育て世帯に発信。各家庭で発災時に必要な備えを考え、準備してもらう。

今後の取組について

最終目的

**中原区民
ひとりひとりの
防災力向上**

R 6

車座集会
課題の顕在化

R 7

市民と課題への
対応策の協議

防災フェスタ（仮称）・
おうちで訓練ウィーク（仮称）の実施
（対象：未就学児の保護者）

車座集会（振り返り）
新しい防災訓練の検証

R 8 以降

防災フェスタ（仮称）・
おうちで訓練ウィークの実施

検証の結果を踏まえたうえで、
他のターゲットを対象にして実施。

（例）【小・中学生世帯】
【タワーマンション住民】
【高齢者】
【現役サラリーマン世帯】

効果検証の手法等について

以下のデータをもとに効果検証を行う予定（車座集会や地域デザイン会議等で市民の意見を確認）

- ・ 防災フェスタ（仮称）・おうちで訓練ウィーク（仮称）の参加者数
- ・ おうちで訓練ウィーク参加者からの回答結果の推移
- ・ 防災フェスタ参加者と非参加者とのおうちで訓練ウィークでの回答結果の違い 等